

説明用資料

# 平成29年度 上半期経営報告会

平成29年11月21日



碧海信用金庫

# 目次

## 主な業務執行の状況

□地域経済活性化への取り組み	4
□お客さま満足度向上への取り組み	10
□人材育成への取り組み	12
□社会貢献への取り組み	14
□格付取得のご報告	18

5-1 純資産の状況	28
5-2 自己資本の状況	29
5-3 不良債権の状況	30
6-1 貸借対照表	31
6-2 損益計算書	32
7 平成29年度計画の進捗状況	33

## 平成29年度上半期の業績

1-1 預金積金の残高	20
1-2 預金積金の内訳	21
2-1 貸出金の残高	22
2-2 貸出金の内訳	23
3-1 損益の状況	24
3-2 損益の増減要因	25
4-1 有価証券の運用状況	26
4-2 有価証券の評価損益	27

## 対処すべき課題

□対処すべき課題	35
----------	----

# 主な業務執行の状況

# 主な業務執行の状況

地域経済活性化への取り組み



## ◆店舗戦略

○御園支店の新築

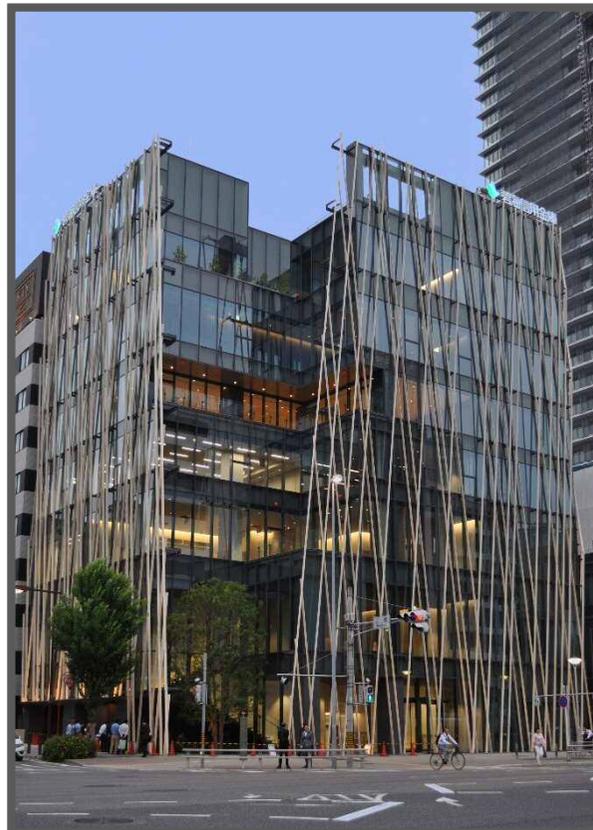
平成29年7月18日オープン



3階 パーソナルプラザ



2階 御園支店



THE LINK SQUARE HEKIKAI  
～お客様と地域をつなぐ架け橋～



6階 大会議室



4階 セミナールーム

## ◆店舗戦略

### ○碧南支店を新築建替え



平成29年12月4日

オープン予定

リニューアルに伴い  
全自動貸金庫を設置

碧南市本郷町1丁目33番地

## ◆地方創生

### ○地方版総合戦略を推進



刈谷商工会議所と業務提携を締結



大府市、大府商工会議所と  
包括連携協定を締結

### ○創業・新規事業を支援

ワンストップ創業支援窓口 上半期実績	相談件数 45件	金融支援件数 28件
-----------------------	-------------	---------------

## ◆課題解決支援

### ○事業承継・M & A業務の課題解決支援強化

<b>【事業承継・M &amp; A】</b> 上半期実績	相談件数 113件	金融支援件数 13件
----------------------------------	--------------	---------------

### ○お客様の販路獲得を支援するためビジネスマッチングを実施

<b>【ビジネスマッチングサービス】</b> 上半期実績	面談数 78先	成約 18先
---------------------------------	------------	-----------

※へきしんメーカーマッチングサービス リンカーズへの登録先  
上半期実績 328件

### ○専門分野チームによる課題解決支援

<b>【医療・介護分野】</b> 上半期実績	相談件数 69件	金融支援件数 48件
---------------------------	-------------	---------------



## ◆課題解決支援

○成長事業分野に対する積極的な資金支援を実施

上半期実績	医療・介護・健康	32件	13億円
	環境・エネルギー	13件	7億円
	その他	29件	10億円
	合計	74件	31億円

※平成22年からの累計 1,275件 771億円

○安城市が運営するビジネス支援施設との連携強化

平成29年10月1日より安城ビジネスコンシェルジュ(通称ABC)のスペシャルアドバイザーとして職員1名を派遣

## ◆海外ビジネス支援

### ○海外事業展開のサポート

バンコク駐在員事務所を開設して3年経過。



上半期実績

現地サポート 40件

※「営業店ビジネスサポートデスク」を活用した海外事業展開にかかる相談対応 上半期 43件

## ◆お客さま本位の業務運営

### ○お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組方針

1. お客さまに対して誠実・公正に業務を行い、お客さまにとって最善の利益をご提供します。
2. お客さまのニーズにお応えできる金融商品の充実に努めます。
3. ご提供する情報の充実と、分かりやすい説明をいたします。
4. お客さま本位の業務運営を行うため、販売態勢の整備と人材育成に努めます。

（大項目のみ記載）

## ◆お客さまの利便性向上へ向けたチャネルの充実

○スマートフォンによる  
口座開設サービス



5月1日より取扱い開始

○インターネットによる  
WEB完結ローン



4月20日より取扱い開始

○ATMの新機種への更新、ICキャッシュカード磁気データ再生  
サービスの取扱実施

### ◆職員の育成

#### ○職員の課題解決力強化

**職員のスキルアップ、キャリアアップを図るため、階層別研修・職能別研修を実施し、課題解決力のある人材を育成。**

#### ○職員の自己啓発

**職員の自己啓発、資格取得を通じた能力開発、キャリア形成を力強くサポートし、お客さまのさまざまなニーズにお応えできる専門力を養成。**

主な公的資格等の取得状況

資格名	取得者数
中小企業診断士	17
社会保険労務士	5
行政書士	7
宅地建物取引士	133
1級FP技能士	35
2級FP技能士	746
3級FP技能士	255
CFP	3
AFP	10
DCプランナー1級	3
DCプランナー2級	10
証券アナリスト	3

平成29年10月1日現在

## ◆女性の活躍場所の拡大

個人営業部に所属するライフアドバイザー



東端支店の女性営業担当



## ◆地域行事への参加、地域イベントをLINE@で紹介



安城七夕まつりダンスコンテストに参加



高浜おまんと祭り



地域の情報をLINE@で紹介



## ◆振り込め詐欺など特殊詐欺防止への取り組み

店頭・ATMコーナー等でお客さまに注意を呼びかけ、被害の未然防止に取り組んでいます。

平成29年度上半期  
4件の未然防止



振り込め詐欺未然防止により  
警察署より感謝状を受領

## ◆地域の見守りに関する協定を締結

地域の皆さまが安心して暮らせる社会の実現を目指して、行政と連携して活動を行っています。

## ◆金融教室、職場体験を実施

- 地域の小学校で「金融教室」を実施
- 地域の高校で金融機関の仕事を紹介
- 高校生、大学生のインターンシップを受け入れ



地域の明日を支える人づくりをお手伝いすることで、地域の未来に貢献したいと考えています。

## ◆へきしんフォトコンテストの実施

愛知県のすばらしさの再発見

テーマ「心に残った“愛知の風景”」

応募総数 360名



平成29年11月27日(月)から  
入賞作品を御園支店の  
4階ギャラリーで展示

一部入賞作品を  
2018年版カレンダー写真に採用

最優秀賞作品 「コンダクター」 高須 吉郎様

## 格付取得のご報告

◆ JCR格付において、13年連続で「A+」を取得

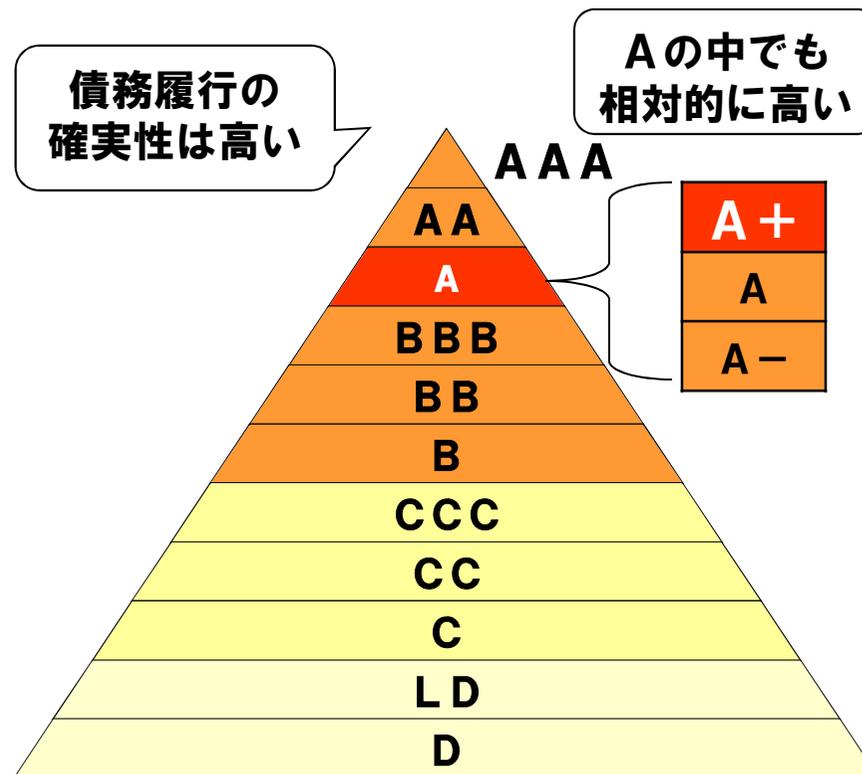
株式会社日本格付研究所（JCR）

格付の種類：「長期発行体格付」

格付：**A+**

格付見通し：「安定的」

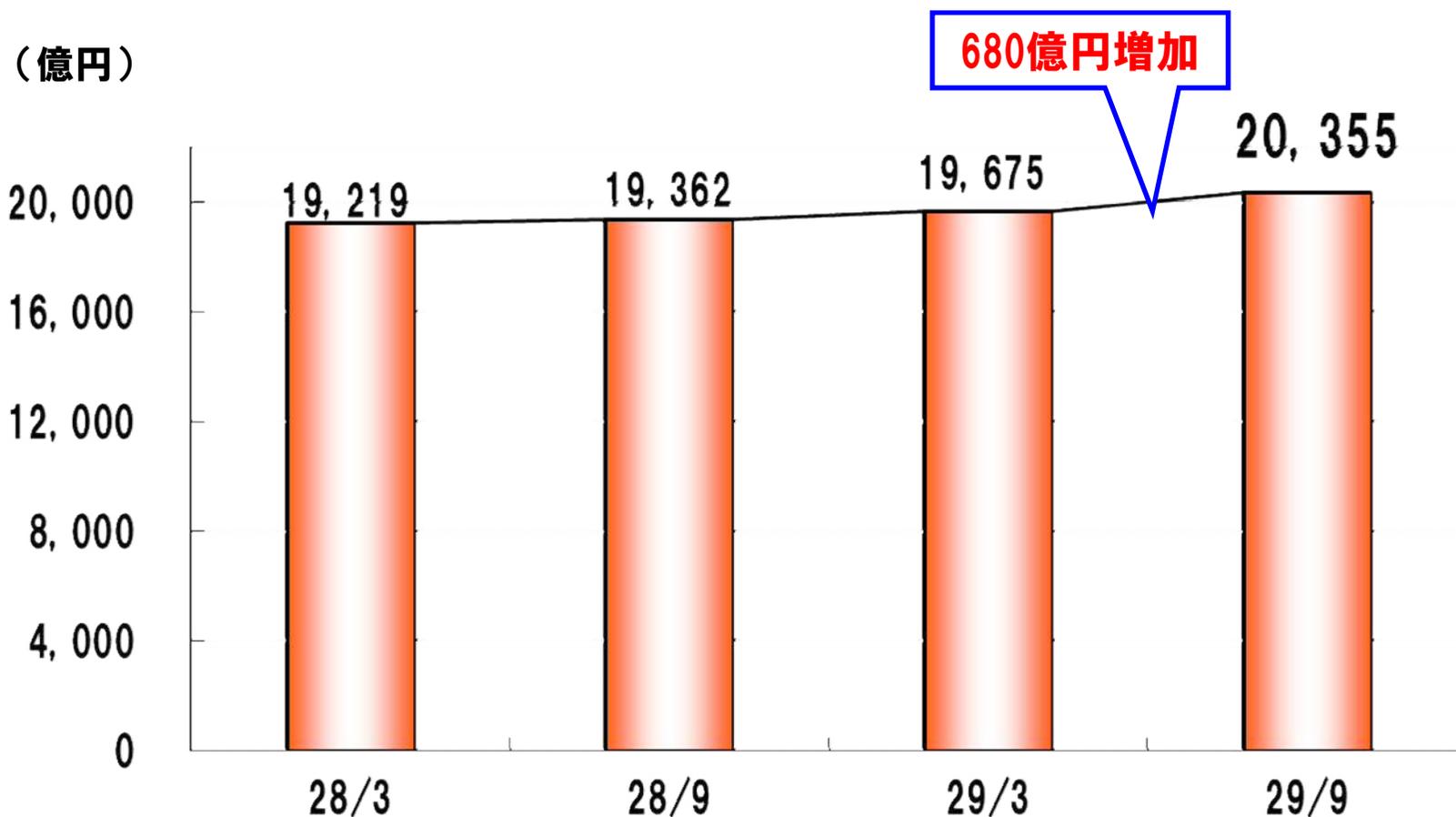
平成29年11月取得



# 平成29年度上半期の業績

# 1-1 預金積金の残高

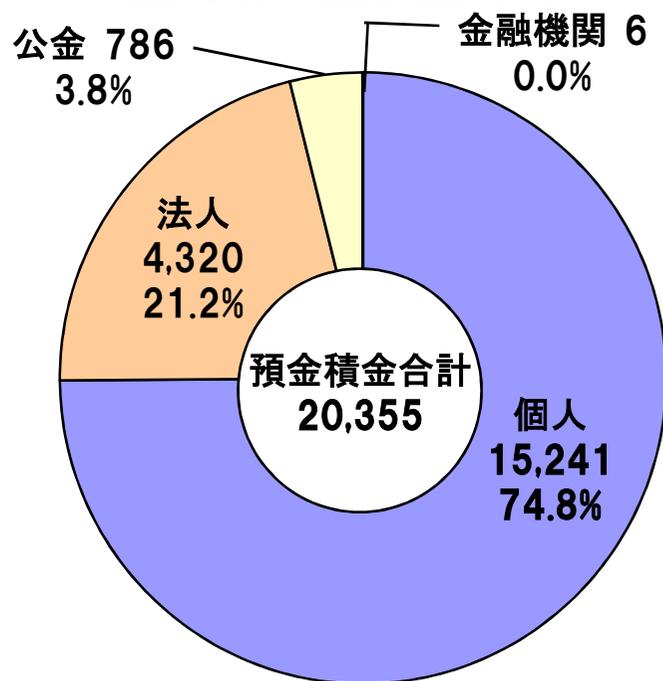
- 預金積金残高は2兆355億円。平成29年3月末比680億円増加。
- 普通預金・定期預金を中心に増加。



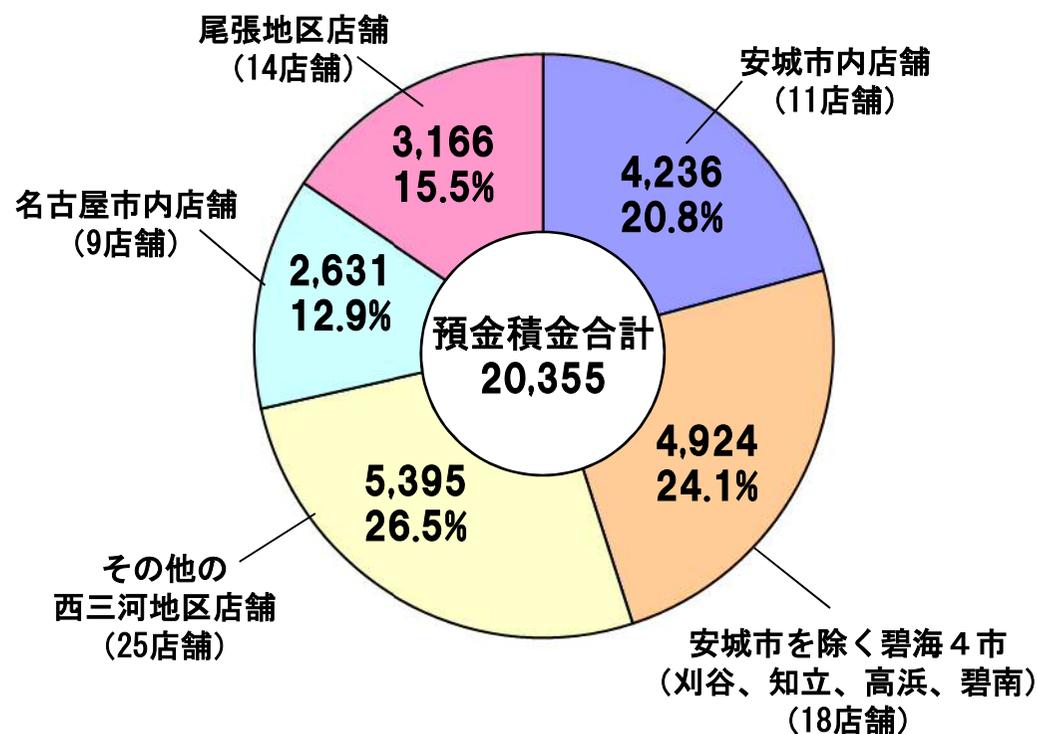
# 1-2 預金積金の内訳

- 個人のお客さまからの預金積金が全体の74.8%。
- 営業地区内の多くのお客さまから幅広く受入れ。

### ■ 預金者別預金積金残高



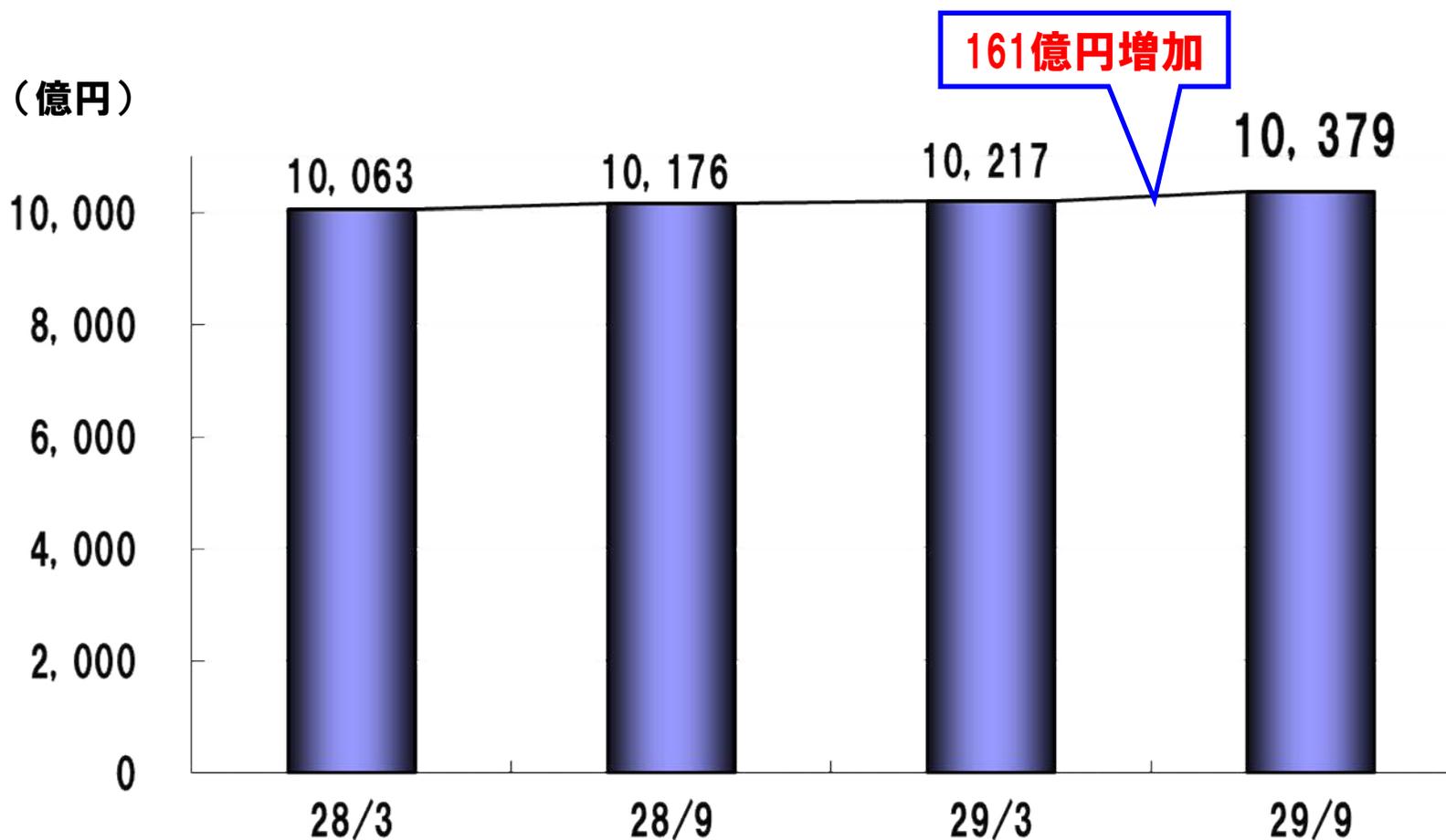
### ■ 営業店舗地区別預金積金残高



(平成29年9月末、単位：億円、%は全体に占める割合)

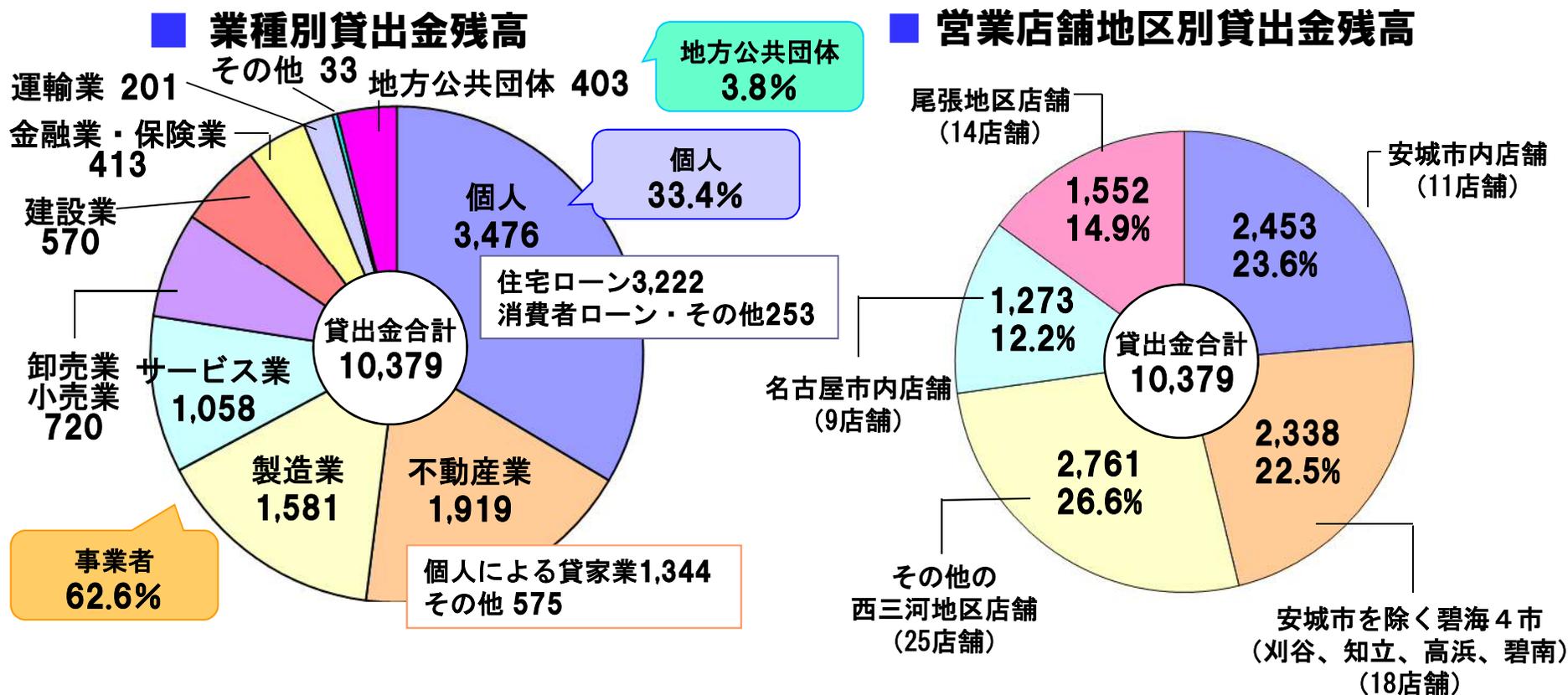
## 2-1 貸出金の残高

- 貸出金残高は1兆379億円。平成29年3月末比161億円増加。
- 住宅ローンをはじめとする貸出金が増加。



## 2-2 貸出金の内訳

- 特定の業種に偏ることなく、幅広い業種の資金需要に対応。
- 営業地区内の多くの地域のお客さまにご融資。

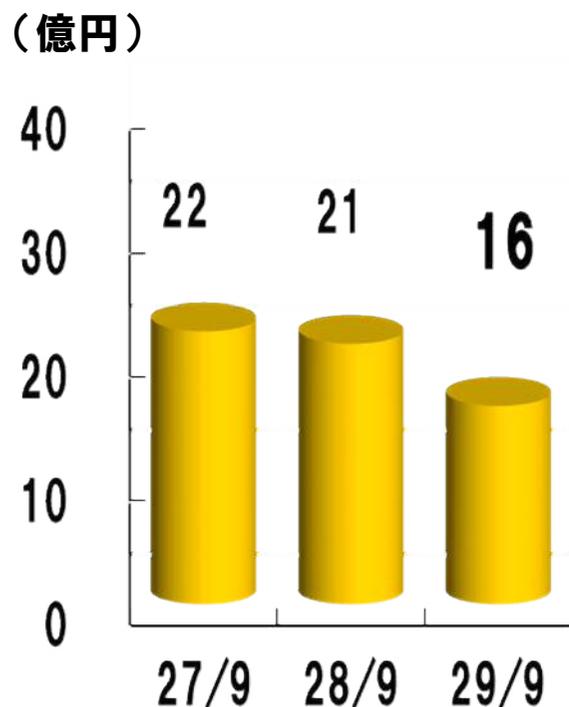


(平成29年9月末、単位：億円、%は全体に占める割合)

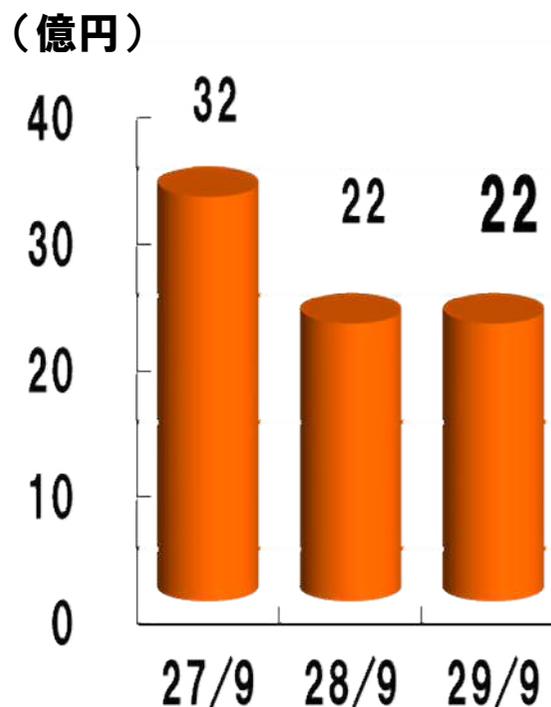
## 3-1 損益の状況

- 業務純益は前年同期比540百万円の減少。
- 経常利益は前年同期比23百万円、当期純利益は前年同期比123百万円の増加。

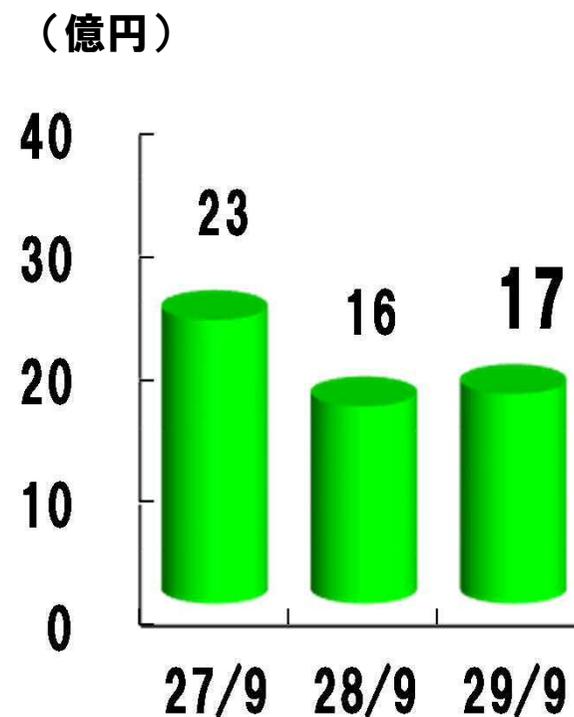
■ 業務純益



■ 経常利益



■ 当期純利益



## 3-2 損益の増減要因

(単位：百万円)

	平成28年度 上半期	平成29年度 上半期	増 減
業務粗利益	10,261	10,023	△237
資金利益	9,140	9,348	208
役務取引等利益	608	498	△109
その他業務利益	512	176	△336
(うち国債等債券関係損益)	472	159	△312
経費	8,069	8,372	302
人件費	5,172	5,382	209
物件費	2,618	2,741	122
一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
業務純益(※1)	2,192	1,651	△540
実質業務純益(※2)	2,192	1,651	△540
臨時損益	75	640	565
不良債権処理損益	147	161	14
株式等関係損益	△38	412	450
経常利益	2,267	2,290	23
特別損益	△2	△8	△6
当期純利益	1,616	1,740	123

(単位：百万円)

(資金利益の内訳)	平成29年度 上半期	増 減
資金運用収益	10,005	△197
貸出金利息	5,776	△325
預け金利息	520	△20
有価証券利息配当金	3,501	123
資金調達費用	657	△404
預金利息	651	△381

貸出金利息の減少、国債等債券関係損益の減少などにより、業務純益は前年同期比540百万円減少の16億51百万円となりました。

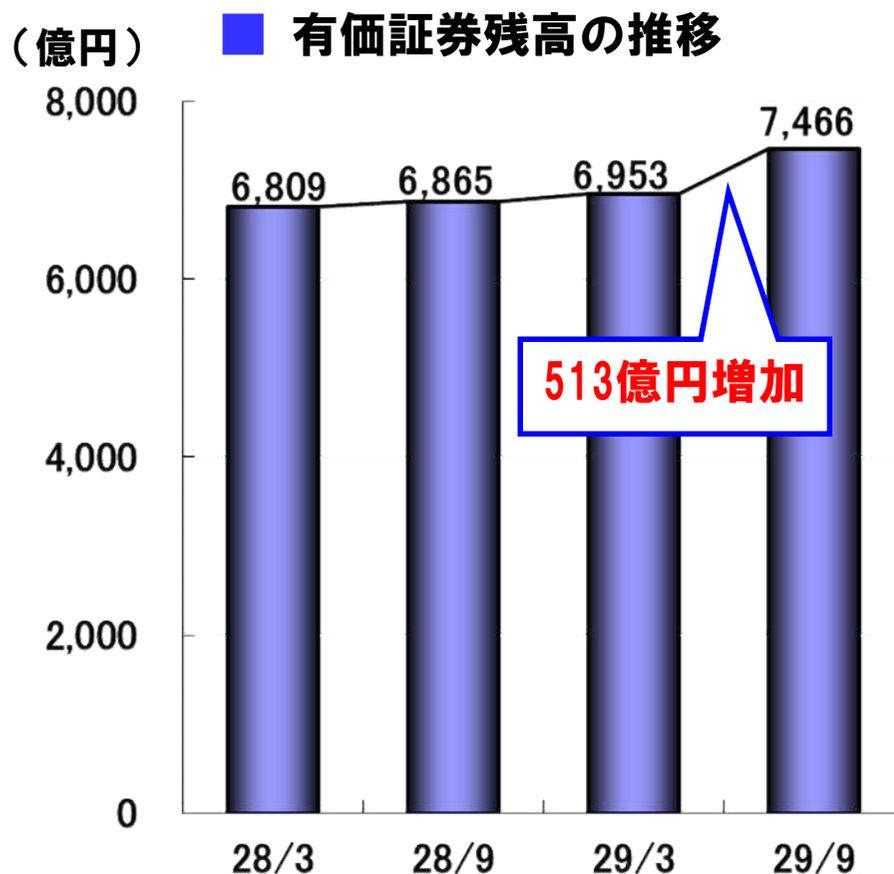
株式等関係損益の増加などにより、経常利益は前年同期比23百万円増加の22億90百万円となりました。

※1 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。

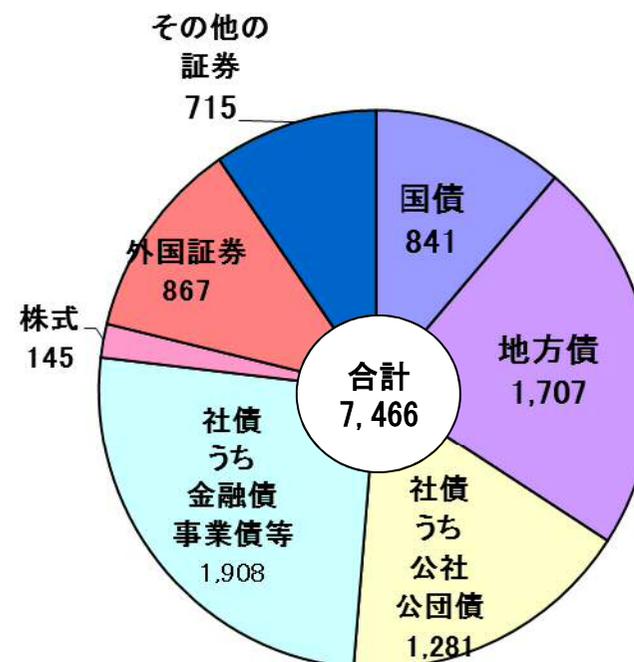
※2 実質業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額を除いた、より本業の収益力を表す利益です。

## 4-1 有価証券の運用状況

- 有価証券残高は7,466億円。平成29年3月末比513億円増加。
- 安全性を重視しながら、多様な資産運用に取り組んでいる。



■ 有価証券の内訳 (平成29年9月末) (億円)



## 4-2 有価証券の評価損益

- 有価証券の評価損益は215億80百万円。平成29年3月末比1億56百万円減少。
- 市場金利の変動があったものの株式相場の上昇により、引き続き高い水準の評価損益を維持。

有価証券の評価損益

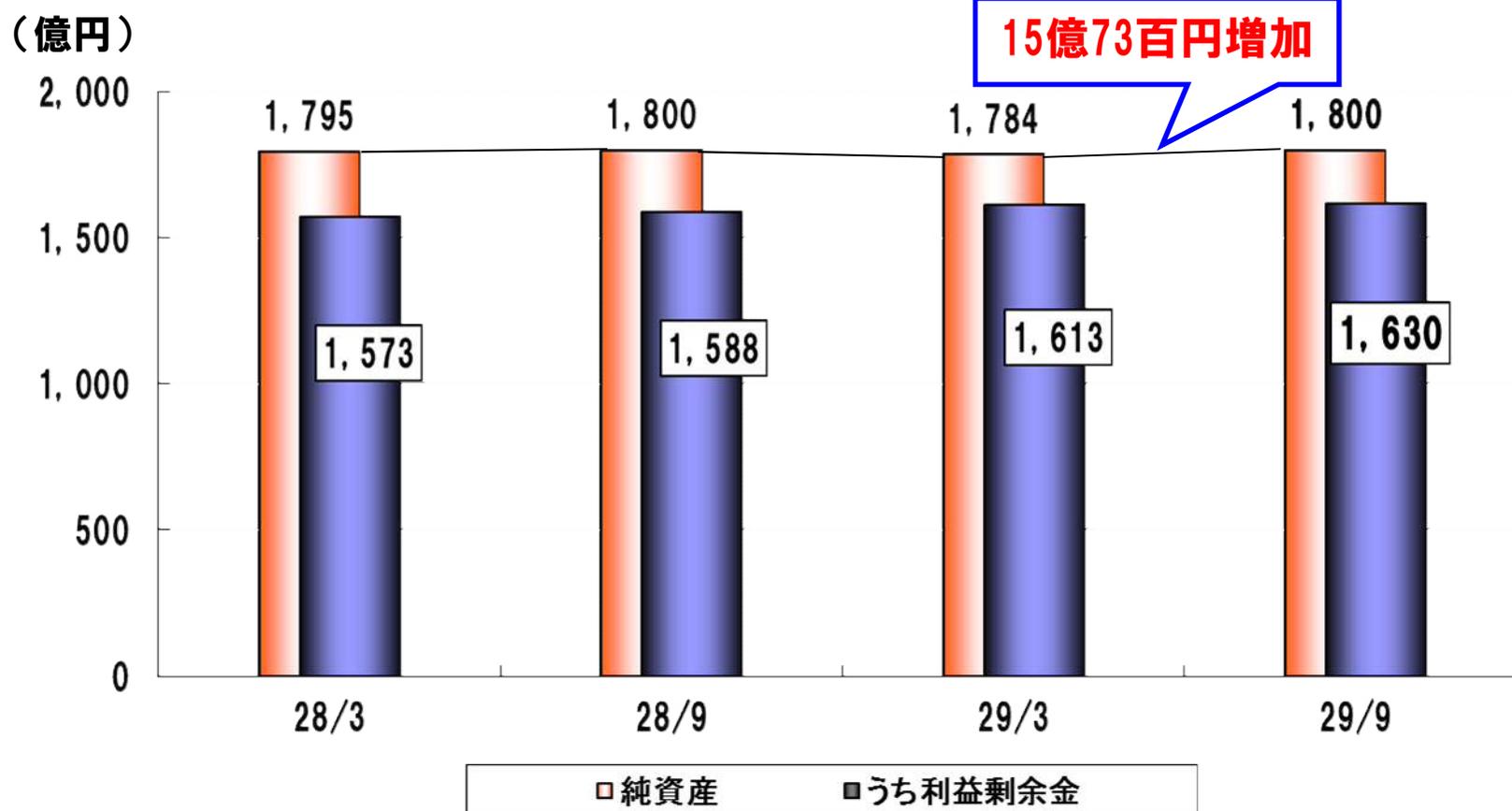
(単位：百万円)

	平成29年3月末	平成29年9月末	増 減
有価証券の評価損益	21,737	21,580	△156
株式の評価損益	5,011	6,335	1,323
債券の評価損益	16,563	14,805	△1,758
その他の評価損益	161	440	278

※その他は、外国証券、投資信託等

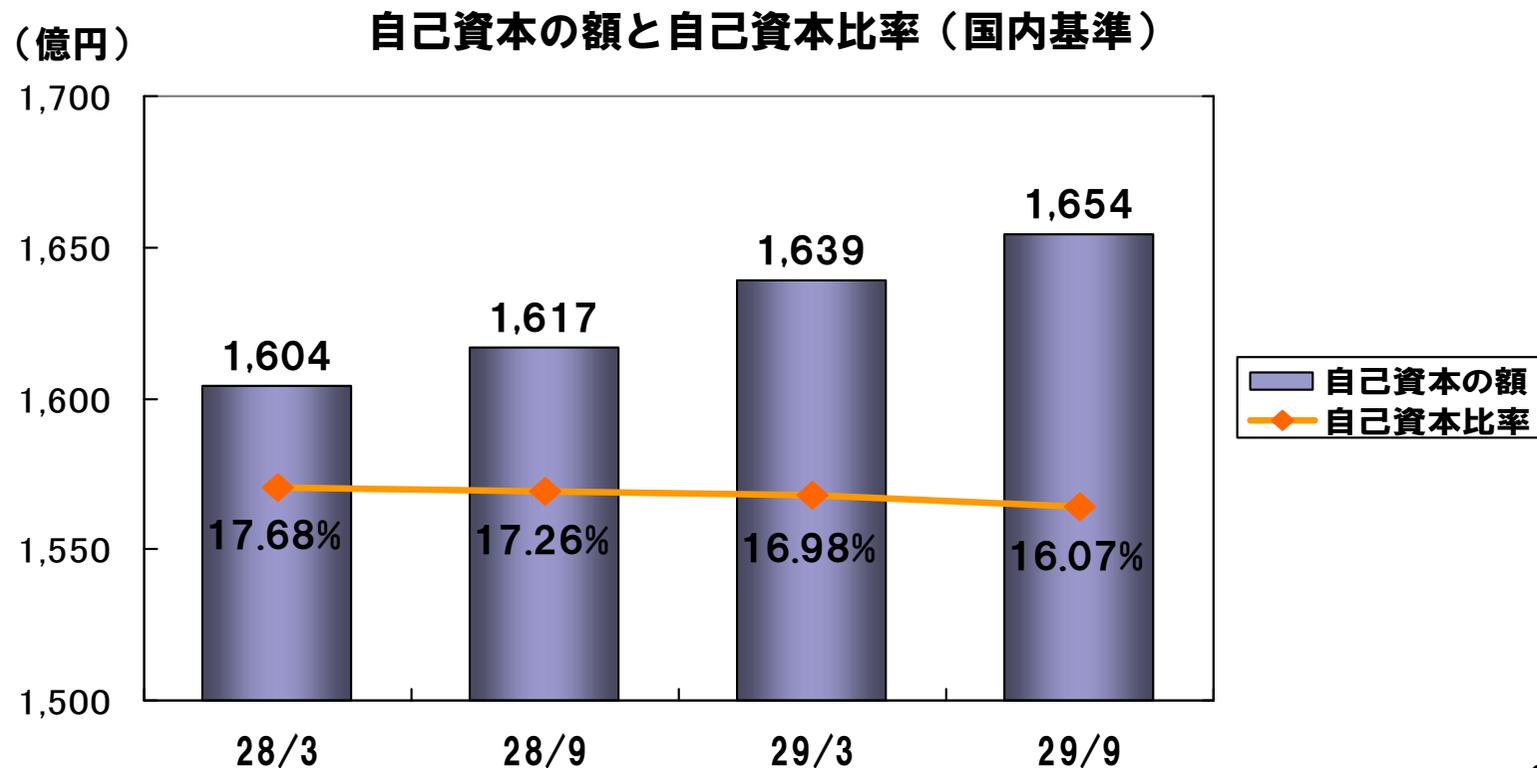
## 5-1 純資産の状況

- 純資産は1,800億円。平成29年3月末比15億73百万円増加。
- 創業以来の利益の積立金である利益剰余金は1,630億円。
- 純資産に占める利益剰余金の割合は90.5%と、純資産の質の高さが特徴。



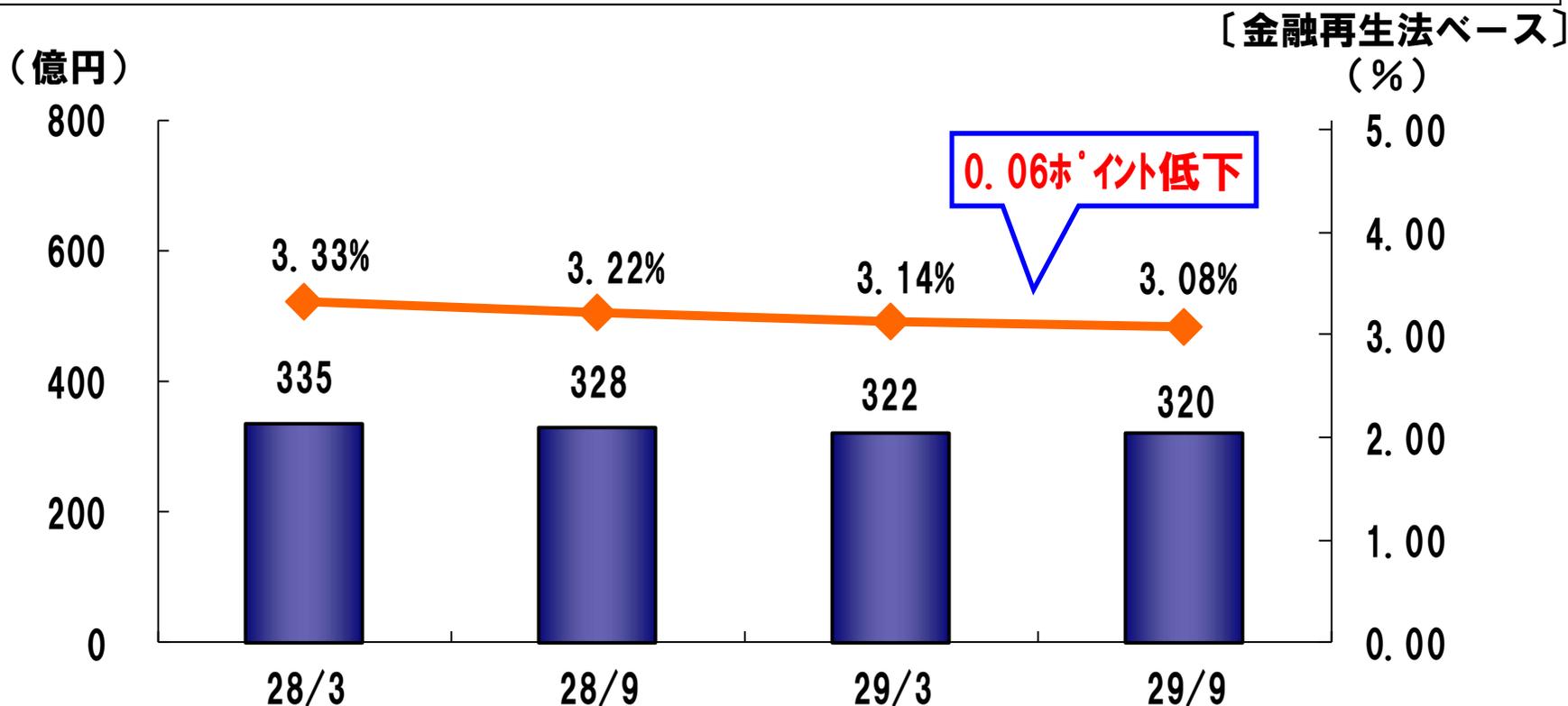
## 5-2 自己資本の状況

- 自己資本の額は、毎期の利益計上により着実に増加。
- 自己資本比率は、有価証券運用における適切なリスクテイクによる収益機会強化等の影響により、平成29年3月末比0.91ポイント低下し16.07%。
- 信用金庫に求められる国内基準4%を大幅に上回っています。



## 5-3 不良債権の状況

- 不良債権比率は、平成29年3月末比0.06ポイント低下し3.08%。
- 地域経済への影響を十分考慮しつつ、引き続き「事業再生・経営支援活動」を主体に改善に努める方針。



※当金庫は債務者に対する債権のうち、回収可能性がないと判断した部分について、直接貸借対照表から減額する部分直接償却を実施しています。

# 6-1 貸借対照表 (平成29年9月末現在)

科 目	金 額
(資産の部)	百万円
現 金	18,881
預 け 金	490,546
買 入 金 銭 債 権	3,287
金 銭 の 信 託	4,035
商 品 有 価 証 券	34
有 価 証 券	746,689
貸 出 金	1,037,930
外 国 為 替	523
そ の 他 資 産	11,720
有 形 固 定 資 産	24,058
無 形 固 定 資 産	626
債 務 保 証 見 返	2,104
貸 倒 引 当 金	△2,403
(うち個別貸倒引当金)	(△948)
資 産 の 部 合 計	2,338,035

科 目	金 額
(負債の部)	百万円
預 金 積 金	2,035,558
借 用 金	109,200
外 国 為 替	55
そ の 他 負 債	4,661
賞 与 引 当 金	593
退 職 給 付 引 当 金	520
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	397
偶 発 損 失 引 当 金	259
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	130
繰 延 税 金 負 債	4,551
債 務 保 証	2,104
負 債 の 部 合 計	2,158,033
(純資産の部)	
出 資 金	1,256
利 益 剰 余 金	163,070
会 員 勘 定 合 計	164,327
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	15,674
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	15,674
純 資 産 の 部 合 計	180,001
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	2,338,035



## 7 平成29年度計画の進捗状況

	項目	29年9月期 (半期)実績	29年9月期 (半期)計画	計画対比	30年3月期 年度計画
規模	預金平均残高	1兆9,880億円	1兆9,698億円	+181億円	1兆9,950億円
	貸出金平均残高	1兆208億円	1兆277億円	△68億円	1兆350億円
収益性	経常利益	22億円	21億円	+1億円	50億円以上
健全性	自己資本比率	16.07%	—	—	16.0%以上
	不良債権比率 (金融再生法ベース)	3.08%	—	—	3.1%未満

※健全性を表す自己資本比率、不良債権比率は年度計画を設定していますが、半期計画は設定していません。

# 対処すべき課題

## (対処すべき課題)

### 対処すべき課題

- ① 全員営業体制の推進
- ② 働き方改革
- ③ 収益力の強化
- ④ 内部統制の強化

本日は、経営報告会にご参加いただき、誠にありがとうございました。  
本日の説明内容に関するご照会等がございましたら、下記までお願いいたします。

**【お問い合わせ先】**

**碧海信用金庫**  
**総合企画部 企画グループ**  
TEL : 0566-77-8102

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。  
将来の業績は、経営環境の変化などにより、変動する可能性があることにご留意ください。  
また、本資料に掲載されております計数につきましては、会計監査人の監査を受けておりません。